項目番号	具体的	 「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそ	+□ \/.==	1161 -11 +7 1 +#\#==
3ー(1)ー(ア) 4ー(1)―(ウ)	な取組	う!	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用

事業目的 • 内容

二葉の里歴史の散歩道(不動院〜二葉の里〜矢賀一里塚。昭和 58 年指定)は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」(毎月 28 日)に定期ガイド等を実施している。

〇課題と対応

二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持っても らう取組を進める。

〇指標 ※2021 年度指標修正

「ふたばの日」及び「いつでもガイド」の年間参加者数

○目標値と進捗状況

年度	2020	2021			
十反	実績	目標値	実績	進捗率	
年度毎の	0人	838人	91人	11%	
目標値		030人	917	1170	

ふたばの日 13人いつでもガイド 78人

○目標値の考え方

2018 年度実績が815 人であったため、2020 年度目標を830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度1%ずつ参加者を増やす。

○2021 年度の取組内容等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」(毎月28日)の定期ガイドを2月まで中止とした。3月28日は、感染症対策の自己申告チェックリストを提出すること等の対応をした上で実施した。

また、事前予約制の「いつでもガイド」は、緊急事態宣言等の期間以外に、12回実施し、参加者は78人であった。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値取組方針等						
847人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実					
0417	施する。					

〇取組上の課題等

新型コロナウイルス感染症対策の自己申告チェックリストを提出すること等の対応をした上で、引き続き、 「ふたばの日」を実施する。

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的 な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう!	担当課	地域起こし推進課
--------------------------------	------------	--------------------------	-----	----------

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用

事業目的 • 内容

二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯篭や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成24年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年8月5日に実施している。

○課題と対応

二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。

〇指標

イベントの来訪者数

○目標値と進捗状況

年度	2020	2021			
十反	実績	目標値	実績	進捗率	
年度毎の	_	2.050 1	_		
目標値	【中止】	2,050人	【中止】		

○目標値の考え方

2019 年度実績が 1,900 人であったため、2020 年度目標を 2,000 人とし、毎年度 50 人増やすこととする。

○2021 年度の取組内容等

2020 年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、実行委員会として「夏の夜、祈りと平和のタベ」の中止を決定した。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
2,100人	原爆によって亡くなられた人々への慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、規模を縮小して開催する。

〇取組上の課題等

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、開催に向けた協議を行う。

項目番号	具体的	ウみをであるかしナナウムトラー	+□ \/.≡m	↓₩₩₽₽₽₽
3-(2)-(ア)	な取組	自然観察の楽しさを広めよう!	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり
 - (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進

事業目的 • 内容

東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成 12 年 5 月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会 を実施している。

○課題と対応

都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。

〇指標

年間参加者数

〇目標値と進捗状況

1	2020	2021			
年度	実績	目標値	実績	進捗率	
年度毎の 目標値	59人	210人	26人	12%	

○目標値の考え方

2018・2019 年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017 年度の実績である5回 198人(1回あたり平均約40人)を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。

○2021 年度の取組内容等

	4月	6月	8月	10)月	11	月	
時期• 内容等	春の 自然観察会	モリアオガエル	水辺 ふれあい	シリブカガシ	3館合同 (戸坂・牛田・ 早稲田公民館) 自然観察会	秋の 自然観察会	牛田山 ぐるっと ハイキング	
参加者数	中止	中止	中止	中止	9人	中止	17人	

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた自然観察会(4月~11月)を中止した。 10月の3公民館合同の自然観察イベントは、感染症対策を行った上で実施した。

また、11月の「牛田山ぐるっとハイキング」では、支援スタッフとして、牛田公園から見立山に登る「らくらくファミリーコース」の参加者 17人を引率した。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
220人	例年行ってきたイベントに加えて、他団体との合同イベントを行っていく。

〇取組上の課題等

年々「東区緑のボランティアの会」の会員の人数が減少し、年齢層が上がっていることから、会員の負担軽減となるよう、他団体との合同イベントの実施も検討する。また、引き続き新規会員募集の広報を行う。

項目番号	具体的		+□ \/ ==	
3-(2)-(1)	な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり
 - (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進

事業目的 • 内容

都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を 高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成25年度から毎年11月に、地元の学区体育協会と区役所、 公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅 力を区内外に広くアピールしている。

○課題と対応

都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。

〇指標

牛田山ハイキング参加者数

〇目標値と進捗状況

	2020	2021			
年度	実績	目標値	実績	進捗率	
年度毎の 目標値	0人	184人	151人	82%	

○目標値の考え方

2019 年度は、悪天候のため参加者数が 123 人にとどまったため、2018 年度実績である 177 人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大200 人を目標値として設定する。

○2021 年度の取組内容等

各学区体育協会や東区スポーツセンター、各公民館等と、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた「牛田山ぐるっとハイキング」の実施方法について協議し、コースの削減(6→3)、少人数グループの編成、出発時間の分散等の対策を行った上で、グループ登山イベントを実施した。また、2週間の自由参加期間(いつでも登山ウィーク)を新たに設けた。

その結果、グループ登山イベントでは68人、いつでも登山ウィークでは83人の参加があった。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
188人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で「牛田山ぐるっとハイキング」を実施し、併せて、いつでも登山ウィークも引き続き実施する。

〇取組上の課題等

グループ登山イベントでは、初心者や子どものいる家族向けの「らくらくファミリーコース」の参加者が 最も少なかったことから(17 人/定員 30 人)、若年層に向けてのイベント広報をより積極的に行う。

項目番号	具体的	 地域主催のハイキングイベントを増やそう!	+□₩=⊞	▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗
3-(2)-(ウ)	な取組	地域土催のバイキングイベントを増やそう! 	担当誌	地球心への抵訴

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進

事業目的 • 内容

東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。

○課題と対応

都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。

〇指標

ハイキングイベントの新規実施件数

〇目標値と進捗状況

F	2020		2021	
年度	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1 件/年	1 件/年	1 件/年	100%

○目標値の考え方

2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。

○2021 年度の取組内容等

二葉公民館【新規】	尾長山	「東区牛田山ぐるっとハイキング」で取り入れた「いつでも登
		山ウィーク」のように一定期間中に個人で参加できる方法で開催
		し、10人の参加があった。(3月12日~21日)
		実施方法についての事前協議や Facebook での情報発信等を
		通して支援した。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
1 件/年	各公民館や「東区緑のボランティアの会」と協議しながら、未実施の大内越山での新規イベントを実施する。

〇取組上の課題等

各公民館やハイキングのスタッフ経験がある「東区緑のボランティアの会」等と連携して、新規実施の支援をしていく。

項目番号	具体的			
3-(3) 4-(1)-(才)	な取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進

事業目的 • 内容

平成11年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。

○課題と対応

東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に 制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。

〇指標

新規申請件数

〇目標値と進捗状況

年度	2020		2021	
十反	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の	2件	4件以上	2件	50%
目標値	/年	/年	/年	50%

〇目標値の考え方

2019 年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019 年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。

○2021 年度の取組内容等

1次募集での新規申請は1件であったため、2次募集で「市民と市政」(7月1日号)での広報、公民館や各地区社会福祉協議会に募集要項を送付して周知した結果、新規申請が1件あり、今年度の実績は2件となった。

団体名(補助額)	事業内容
かかし祭り実行委員会	広島市森林公園を活用して、かかし祭り(オリジナルかかしの
(9万8千円) ※	制作・展示・人気投票・表彰、ステージ発表、マルシェ)を開催
	し、世代間交流の促進と地域のにぎわいづくりにつなげる。
一般社団法人 My Japan	東区の二葉山の山道整備や、シリブカガシなどの自然資源を
(100万円)	活用したワークショップ等を行い、東区の魅力を向上させる。

[※]新型コロナウイルス感染症の影響により、補助事業を中止し、規模を縮小して自主事業として実施した。

〇2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
4件以上 /年	「市民と市政」や Facebook を通じて既存団体の活動を広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。

〇取組上の課題等

引き続き地区社会福祉協議会や団体長に向けてのチラシや案内の送付や、「市民と市政」、公民館だよりに紹介記事を掲載するなどして、新規申請の掘り起こしを行う。

項目番号	具体的		+D.V/=B	
3-(4)-(7)	な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう!	担当課	地域支えあい課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり
 - (4) 大学との地域連携によるまちづくり

事業目的 • 内容

若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展(朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等)を開催している。

○課題と対応

地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。

〇指標

健康展の出展回数

〇目標値と進捗状況

年度	2020		2021	
十反	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	1回/年	50%

○目標値の考え方

これまで広島女学院大学、比治 山大学を隔年で実施していた。 2020年度からは両大学の大学祭 において健康展を出展するため、 年2回とした。

○2021 年度の取組内容等

健康展の出店を予定していた大学祭について、比治山大学は縮小、広島女学院大学は中止となったため、大学での健康展は実施できなかった。

そのため、広島女学院大学管理栄養学科の学生と「朝食及び野菜の摂取」をテーマとした啓発資料を作成し、同大学と共催で開催したがん講演会において、学生及び教員計300名に配布することで健康展実施の代替えとした。講演会では、地元野菜を活用した東区の野菜レシピも配布し、若い世代の健康づくりの啓発につなげた。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
2回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催の有無及び開催方法が未定であるが、健康展が中止となった場合についても、大学と協議した上で若い世代への啓発方法を検討していく。

〇取組上の課題等

新型コロナウイルス感染症の影響により、健康展を実施する学園祭が中止・縮小化する可能性があることを前提に、対応について大学との協議を早期に行う。

項目番号	具体的	^~+\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	+□ \/ ==	1/4+**+-> +- / \=m
3-(4)-(1)	な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう!	担当課	地域支えあい課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり
 - (4) 大学との地域連携によるまちづくり

事業目的 • 内容

大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやり心を育むことを目的に、 常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。

○課題と対応

地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。

〇指標

大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催 件数

○目標値の考え方

年1回、継続的に開催する。

〇目標値と進捗状況

年度	2020		2021	
+ 技	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の	1回/年	1 回/年	1回/年	100%
目標値				100%

○2021 年度の取組内容等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、常設オープンスペースは休止していた期間もあったが、 開設していた 12 月 22 日に、感染対策を講じながら対面で「大学生とあそぼ」を実施した。参加者は 25 人(子ども 13 人、大人 12 人)であり、子どもの反応に合わせて指遊びやパネルシアターを実施でき大変 好評であった。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
1回/年	新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、可能な限り対面で実施する。対面実施が困難な場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法でオンライン実施する。

〇取組上の課題等

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対面実施が困難な場合はオンラインでの実施とする。オンラインで実施する場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法とする。

項目番号	具体的		+□ \/.==	1161-#+7 ~ 1 +#\#==
3-(5)-(ア)	な取組	地元のトップアスリートを応援しよう!	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (5) スポーツにふれあう機会の充実

事業目的 • 内容

東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年1回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。

○課題と対応

東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。

○指標

東区応援団への参加者数

〇目標値と進捗状況

han orbit	2020	2021		
年度	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の	_	110人	_	
目標値	【中止】	110人	【中止】	

〇目標値の考え方

2019 年度実績が90人であったため、2020年度目標を100人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度10人ずつ参加者を増やす。

○2021 年度の取組内容等

実施時期	応援状況
6月	イズミメイプルレッズの選手の東京オリンピック選出を Facebook で紹介
8月	地元開幕戦にあわせて Facebook で応援を呼び掛け
10月	「市民と市政」(10月1日号)でチーム・試合情報を紹介
10/3	区役所ロビー展第1弾(10/1~11/4)
1月	区役所ロビー展第2弾、応援メッセージ募集(1/17~2/2)
2月	東区スポーツセンター及び学区体育協会の協力のもと、集まった応援メッセージをチ
	ームへ届けた。その様子をFacebook で報告し、応援を呼び掛けた(2/4)

2月5日のホーム戦で東区応援団の結成を検討したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、中止することとした。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
120人	東区スポーツセンターや学区体育協会との協議、連携を図りながら、東区応援団を結成し
120 /	て試合観戦する。応援団を結成できない場合についても、応援メッセージ企画のような応援
	方法を検討する。

〇取組上の課題等

新型コロナウイルス感染症対策を行った上での応援方法について、イズミメイプルレッズや東区スポーツ センター、学区体育協会と協議する。

項目番号 3-(5)-(イ)		高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう!	担当課	地域起こし推進課
----------------	--	-------------------------------------	-----	----------

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (5) スポーツにふれあう機会の充実

事業目的 • 内容

区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回(5月、10月、12月)、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。

○課題と対応

東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。

○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数

〇目標値と進捗状況

	2020		2021	
年度	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	00	30	1 🛭	33%

○目標値の考え方

2019 年度まで毎年3回継続開催しており、2020 年以降も毎年3回継続して実施する。

○2021 年度の取組内容等

ニュースポーツを体験する東区スポーツセンター主催イベントの状況

イベント名	実施時期	状況(新型コロナウイルス感染症の影響)
ひがしくスポーツセンターまつり	中止	2月に開催予定であったが、中止
エンジョイ!スポーツ祭(スポーツの日)	中止	10月に開催予定であったが、中止
ニュースポーツ交流会		12月19日にトランポリンやだるま落とし
	12月	などの3密を避けたスポーツに変更して開
		催した。

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等		
	・東区スポーツセンターや学区体育協会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を		
30	協議していく。		
	・イベントの広報活動の支援を行う。		

〇取組上の課題等

「ひがしくスポーツセンターまつり」と「エンジョイ!スポーツ祭」は不特定多数の参加が見込まれるため、事前予約等の参加者情報の把握や人数制限等の実施方法について検討する。

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう!	担当課	地域起こし推進課
------------------------	------------	----------------------------	-----	----------

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (6) 都心に近い農業地域の活力向上

事業目的 • 内容

東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や 区民相互の交流を促進することを目的に、平成16年8月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて 「木曜であい市」を開催している。

○課題と対応

「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。

〇指標

年間来場者数

○目標値と進捗状況

年度	2020	2021		
十反	実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0人	4,050人	365人	9%

○目標値の考え方

2018年度までの過去3年間で 1回の来場者が 103 人から 80 人に減少しているため、2020年 度の目標を4,000人(1回80人 ×年50週)と設定し、毎年50人 ずつ(毎回1人ずつ)来場者を増 やす。

○2021 年度の取組内容等

「緊急事態宣言」の発令や「まん延防止等重点措置」等の適用などにより、開催できない期間を除き、感染対策として、来場者の事前予約(30人)や販売会場への人数制限(10人)を行った上で、6回開催し、合計で365人の来場があった。

(参考) 木曜であい市開催状況

区分	開催回数	来場者数
第1四半期	20	78人
第2四半期	0 🛛	0人
第3四半期	4 🗆	287人
第4四半期	0 🛛	0人
計	60	365人

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
4,100人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「木曜であい市」を開催する。

〇取組上の課題等

感染拡大防止を図りながら、段階的に人数制限を緩和し、来場者の増加に取り組む。

項目番号	具体的	フビナナナにおきののサカナにろったこ	+ □ 1 /2≡ m	▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗
3-(7)	な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課

まちづくりのテーマ及び項目

- 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
 - (7) 地域の魅力の継承

事業目的 • 内容

東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会【以下、歴史】(牛田小学校、尾長小学校)、東区緑のボランティアの会【以下、緑ボラ】(尾長小学校)、東区ふれあいもてなし市協議会【以下、農家】(矢賀小学校)の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。

〇課題と対応

子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。

〇指標

3者が学習支援を実施する学校等の数

○目標値と進捗状況

年度		2020	2021		
十/文		実績	目標値	実績	進捗率
年度毎 目標値	_	3校/年	5校/年	5 校/年	100%

○目標値の考え方

2019年度は3者が4校で学習 支援を行っており、2025年度に 3者が各1校ずつ増やし7校にす ることし、2年ごとに1校ずつ増 やすことを目標とする。

○2021 年度の取組内容等

団体・学習支援実施校		学習支援内容	実施時期
農家	①矢賀小学校(2年)	「矢賀うり」植付指導	6月 15 日実施
	①大貝小子仪(24 <i>)</i>	「矢賀ちしゃ」植付指導	11月24日実施
	②あけぼの保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導	11月29日実施
歴史	③尾長小学校(6年)	ウォークラリー(七社寺)でのガイド	7月6日実施
	④牛田小学校(3年)	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド	10月6日実施
	⑤広島女学院大学	城下町広島の歴史講座	中止
	沙 山岛又于阮八子	七福神コースのガイド	11月20日実施
緑ボラ	尾長小学校(5年)	尾長山・二葉山でのガイド	中止

○2022 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等		
5 坎 /年	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、上記の小学校等への学習支援に加え、新た		
5 校/年	な学習支援校を増やす。		

〇取組上の課題等

学校側のスケジュール確保や支援内容の周知が必要であることから、小学校長会での情報提供を行う。